

鳥巣コセン便



第490号（令和7年3月5日）
発行：鳥巣コミュニティセンター

電話：21-0174 Fax：21-0176

E-mail：tobisu-cc@local.city.izumo.shimane.jp

■ 人口：1,559人（前月－2）

■ 2月のコミセン利用者：2,283人



【冬の花の代名詞である山茶花】

集大成！お作法教室

お作法教室で学んだ成果を保護者の皆さんに披露する今年度最後のお作法教室（鳥巣幼稚園児対象）が、2月4日（火）にコミセン研修室で開催されました。

少し緊張していた園児たちでしたが、自分の番になると教わったお作法を上手に披露しました。その振る舞いを保護者の皆さんは笑顔で見守り、我が子の成長ぶりに驚いていました。

6人の園児は、「お箸やお茶碗の持ち方を教えてもらいよかった」「畳の上での歩き方を教えてもらって嬉しかった」など、頑張った一年を振り返り感想を述べていました。また保護者からは、「家でもお作法教室の話題が出たり、礼儀やマナーが身についたりした。継続は力なりという言葉どおり、成長した姿に感動しています」と、喜びの声を聞かせていただきました。

後日、スタッフの皆さんには園児手作りのお礼のカレンダーが届けられました。



防災講演会 ～南海トラフ巨大地震をふまえ、今私たちにできること～



鳥巣地区災害対策委員会と鳥巣地区自治協会が共催した「防災講演会」が、2月16日（日）にコミセン集会室で開催されました。

講師の林繁幸さん（林防災危機管理事務所長）からは、能登半島地震後にボランティアで現地に入った時に得た教訓とともに、被災者の生の声を映像で聞かせていただきました。加えて、活断層の上にある出雲地域のこと、南海トラフ巨大地震が発生する確率、今後必ず起きるであろうといわれている巨大地震への備えなどについて、具体的に説明していただきました。また、この講演会に参加していた女性災害サポート隊は、避難時の非常持出袋や3日間食べられる非常食などの展示をしました。参加した皆さんは、興味深く手にとって見ていました。

災害に対する心の備えや物の備え、地域の備えなどについて、多くの示唆をいただき、学びや気づきがたくさんあった有意義な講演会となりました。

